

8. 指定障害福祉サービス事業

(1) 気仙沼市松峰園

【概要】障害者総合支援法及び気仙沼市障害者通所施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市に居住する知的障害のある方を対象に、指定就労継続支援B型事業サービスを適切に提供し、障害者の自立を支援しました。

【事業実績】

月	就労継続支援B型	開 所 日 数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	45	22	0	0	761	34.6
5	45	22	0	0	741	33.7
6	45	20	0	0	679	34.0
7	45	23	0	1	758	33.0
8	44	19	0	1	613	32.3
9	43	20	0	0	675	33.8
10	43	23	0	0	759	33.0
11	43	21	0	0	684	32.6
12	43	21	0	0	690	32.9
1	43	20	0	0	649	32.5
2	44	19	1	1	662	34.8
3	43	21	0	2	715	34.0
計	526	251	1	5	8,386	33.4
前年度	522	251	0	2	9,031	36.0

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和6年4月20日	職員研修会（障害者手帳と利用できる制度）	気仙沼市松峰園
5月18日	職員研修会（障害程度区分について）	気仙沼市松峰園
6月20日	令和6年度障害福祉サービス事業者等集団指導	オンライン
6月26日～27日	甲種防火管理新規講習	気仙沼市立本吉公民館
7月4日	令和6年度障害者虐待防止研修	オンライン
7月20日	職員研修会（施設職員に求められる心構え）	気仙沼市松峰園
8月2日	令和6年度気仙沼障害福祉フォーラム総会	市民福祉センターやすらぎ
8月6日	食品表示&HACCP対策オンラインセミナー	オンライン
8月28日	令和6年度就労支援連絡会ワーキング	市民福祉センターやすらぎ
8月29日	アンガーマネジメント研修	オンライン
9月12日	安全運転管理者等講習	気仙沼市立中央公民館
11月29日	令和6年度宮城県知的障害者福祉協会 「施設長・管理者研修会」	宮城県障害者福祉センター
12月11日	職員研修会（ハラスメントとその対策）	気仙沼市松峰園
12月17日	苦情解決に関する研修会	オンライン
令和7年1月10日	令和6年度気仙沼地域障がい者就労セミナー	気仙沼市立中央公民館
1月21日	令和6年度第2回就労支援連絡会ワーキング	市民福祉センターやすらぎ
2月17日	HACCPの考えを取り入れた食品衛生研修会	気仙沼市水産研修センター
3月18日	令和6年度障害福祉サービス事業者等集団指導	オンライン

【成果】職員、利用者で新型コロナウイルスの罹患者が数名出ましたが、施設内消毒等を徹底し、感染症の影響を最小限に抑えることができました。生産活動では、受託作業における委託料の増額を図ったことにより、利用者の工賃に反映させることができました。

【課題】利用者の高齢化や疾患、利用サービスの変更により長期欠席から退所となるケースが相次ぎ、新規利用者の獲得が課題です。また体調の変化により、生産活動に積極的に取り組むことが難しい利用者が増えていることから、利用者の健康管理に努め安定した事業運営に努めます。

【今後の取組】毎月実施している臨時開所日を活用し、利用者の余暇支援に努め、生産活動においては、外部での販売の機会に積極的に参加するとともに、新規作業の開拓を行い、利用者工賃の反映が図られるようにします。

【決算】事業活動による収入	72,811,932円	事業活動による支出	63,013,800円
施設整備等による収入	55,000円	施設整備等による支出	2,131,360円
		その他の活動による支出	6,451,620円
		(基金への繰出し5,000,000円含む)	
		当期資金収支差額	1,270,152円

（２）気仙沼市みのりの園

【概要】障害があっても地域で安心して生活できるよう、利用者の意思や個性を尊重し、家庭と連携を図りながら、生活の質の向上と自立に向けたサービス提供に努めました。

【事業実績】

月	在籍者数	開所日数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	31	22	1	0	490	22.3
5	31	22	0	0	513	23.3
6	31	21	0	0	479	22.8
7	31	22	0	0	517	23.5
8	32	21	1	0	457	21.8
9	32	20	0	0	424	21.2
10	32	22	0	0	478	21.7
11	32	20	0	0	430	21.5
12	31	20	0	1	416	20.8
1	31	19	0	0	381	20.1
2	31	18	0	0	362	20.1
3	31	20	0	0	452	22.6
合計	376	247	2	1	5,399	21.9
前年度	365	262	2	3	5,182	19.8

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和6年5月31日	新型コロナウイルスBCP研修	気仙沼市みのりの園
5月24日	令和6年度福祉フォーラム	気仙沼市市民福祉センターやすらぎ
6月20日	指定障害福祉サービス事業者等集団指導（オンライン）	気仙沼市松峰園
6月21日	虐待防止・身体拘束適正化内部研修	気仙沼市みのりの園
7月23日	令和6年度進路ガイダンス	宮城県立気仙沼支援学校
7月25日	職員会議（4～6月実績、施設内修繕箇所確認等）	気仙沼市みのりの園
8月2日	令和6年度福祉フォーラム総会	気仙沼市市民福祉センターやすらぎ
8月30日	令和6年度アンガーマネジメントオンライン研修	気仙沼市みのりの園
10月8日	令和6年度リスクマネジメントオンライン研修	気仙沼市みのりの園
10月11日	虐待防止・身体拘束適正化内部研修	気仙沼市みのりの園
10月25日	令和6年度感染症対策委員会	社協本所
12月12日	虐待防止・身体拘束適正化内部研修	気仙沼市みのりの園
12月20日	業務継続計画（BCP）研修	社協本吉支所
令和7年1月29日	地域リハビリテーション強化事業身体障害の啓発WEBセミナー	気仙沼市みのりの園
1月30日	権利擁護・虐待防止研修	気仙沼市本吉保健福祉センターいこい
3月18日	指定障害福祉サービス事業者等集団指導（オンライン）	気仙沼市松峰園
3月18日	本吉町防火管理者協会研修会	気仙沼市本吉公民館
3月24日	令和6年度障害福祉サービス請求事務に関する研修会	気仙沼市市民福祉センターやすらぎ
3月31日	虐待防止・身体拘束適正化内部研修	気仙沼市みのりの園

【成果】令和6年度も感染症予防対策を継続しながら利用者の安全と健康管理を優先し、安心して利用いただける環境を整えました。また、臨時開所日を設定した効果もあり、昨年度比で利用延べ人数が217名の増加となり、一定の成果を上げることができました。更に、関係機関との連携を強化し、現場実習や日中サービスの利用を検討している方々を対象とした施設見学を柔軟に受け入れ、新規利用者の獲得のほか、利用者への質の高いサービスを提供するため、各種研修に参加し職員研鑽に努めました。

【課題】利用者の重度化や高齢化に伴い、更なるサービスの質の向上に努める必要がありますが、日々の安全確保が最優先の課題となっています。また、今後も施設の維持に向けて新規利用者の獲得と安定した収入確保が必要です。利用者全体に対する支援のほか、個々の年齢や体力特性等に配慮したきめ細やかな活動の工夫が求められています。

【今後の取組】各種研修に積極的に参加し、職員の専門性とサービスの質の向上を図り、利用者一人ひとりが生きがいややりがいを感じて生活できるよう、活動面や生活面の支援を充実させ、より望まれる事業所を目指します。
地域で安心して暮らしていけるよう、生活介護事業所としての役割を果たしながら関係機関との連携に努め、長期的なサポートに努めます。

【決算】事業活動収入	45,997,965円	事業活動支出	48,584,359円
その他の活動による収入	7,742,800円	施設整備等による支出	1,755,380円
		その他の活動による支出	1,277,160円
		当期資金収支差額	2,123,866円

(3) 気仙沼市マザーズホーム

【概要】児童福祉法及び気仙沼市障害児通所支援施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市及び近隣に居住する障害児及び保護者の方々を対象に、児童発達支援及び放課後等デイサービス、保育所等訪問支援事業、宮城県障害児等療育支援事業を適切に提供し、日常生活の基本動作や集団生活への適応力の向上及び保護者の養護負担の軽減や精神的安定の向上に努めました。また、令和元年度より開始した「保育所等訪問支援事業」や県から「宮城県障害児等支援事業」を受託し、宮城県発達障害者地域支援マネジャーを配置することにより、教育・医療機関との連携が更に強化されました。障害児者やその家族、支援者が地域で安心して生活が送れるよう支援支援に努めました。

【事業実績】

月	児童発達支援 放課後等デイ	開 所 日 数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	18	22	3	0	144	6.5
	38	25	7	0	298	11.9
5	20	21	2	0	146	7.0
	39	24	1	0	324	13.5
6	21	20	1	0	146	7.3
	39	25	0	0	338	13.5
7	20	22	0	1	158	7.2
	39	26	0	0	296	11.4
8	21	21	1	0	159	7.6
	33	27	0	0	282	10.4
9	23	20	2	0	156	7.8
	39	23	0	0	316	13.7
10	24	22	1	0	196	8.9
	39	26	0	0	318	12.2
11	24	21	0	0	144	6.9
	39	24	0	1	281	11.7
12	25	20	1	0	164	8.2
	38	24	0	1	294	12.3
1	26	19	1	0	162	8.5
	37	23	0	0	247	10.7
2	26	19	1	1	155	8.2
	37	22	0	0	256	11.6
3	18	21	0	8	157	7.5
	34	25	0	3	262	10.5
計	266	248	13	10	1,887	7.6
	451	294	8	5	3,512	11.9
前年度	234	247	8	10	1,889	7.6
	345	293	6	5	2,028	6.9

【保育所等訪問支援事業】

月	契約者数	解約者数	訪問回数
4	継続31・新規2	1	19
5	0	0	28
6	0	0	29
7	2	0	23
8	1	0	10
9	2	0	31
10	1	0	32
11	0	0	33
12	0	0	34
1	0	0	30
2	0	0	32
3	0	5	34
計	39	6	335

令和7年3月31日現在の利用状況

小学校・・・12校（18人）

中学校・・・1校（1人）

保育所・・・4園（7人）

幼稚園・・・4園（7人）

※認定こども園含

【宮城県障害児等療育支援事業】

相談件数129件 主な内訳としては下記のとおり

(1) 来所による療育指導（相談件数：48件）電話対応含む

・相談の傾向：保育所や幼稚園、学校に関すること

・支援の内容：幼稚園や保育所との連携

(2) 訪問による療育相談・指導（相談件数：54件）

・相談の傾向：受診や相談について・障害特性について 等

・主な内容：保育所や幼稚園の対応方法・本人の関わり方 等

(3) ケース会議 (27件)

・支援内容の確認や障害のある子どもの対応について情報共有

(4) 発達障害者地域支援マネジャーとの連携

(連携の具体例について)

・ペアレント・プログラムの実施（気仙沼：2クール）

・幼稚園・保育所、小学校での対応困難児に対しての巡回訪問の実施

・障害者の相談

・困難事例へのアドバイス

・不登校児支援

・職員研修会実施

・読み書き困難児への支援（2ケース「子ども総合センター・尚絅大学」との共同

【発達障害者地域支援マネジャー配置事業】

(1) 相談件数 226件

未就学：54件 小学生：74件 中学生：38件 15歳～18歳：36件

18～20歳：3件 20代：16件 50代：5件

(2) 市町村及び事業所等への支援

・講師派遣 気仙沼高等学校定時制課程講師

管内特別支援教育研修会

保育所等従事者研修会

南三陸町子育て講座

いっば「ママカフェ」ミニ講座

ひまわり教室「ペアレントトレーニング」

・他機関主催の会議に出席

(3) 家族支援

・ペアレント・プログラムの実施

(4) その他

医療機関との連携

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和6年4月11日	令和6年度第1回情報交換会	宮城県子ども総合センター
4月12日	令和6年度入職者対象オリエンテーション	市社協本所
4月23日	発達障害者支援センター事業説明会	オンライン
4月30日	ペアレント・メンター研修	市民福祉センターやすらぎ
5月 1日	第1回宮城県特別支援連絡協議会	宮城県総合教育センター
5月10日	第1回気仙沼市教育推進員会	市民福祉センターやすらぎ
5月24日	令和6年度気仙沼市障害福祉フォーラム	市民福祉センターやすらぎ
5月26日	就学に関するガイダンス	気仙沼市教育委員会
5月27日	親の会総会：研修「就労について」	気仙沼市松峰園
5月30日	第1回コーディネーター連絡協議会	気仙沼市教育委員会
5月31日	援護寮見学会	宮城県援護寮
6月 5日	第1回気仙沼市小中学校再編検討委員会	気仙沼市教育委員会
6月10日	気仙沼市手をつなぐ育成会評議委員会	気仙沼市立新城小学校
6月13日	令和6年度第2回情報交換会	宮城県子ども総合センター
6月17日	管内特別支援教育研修会	オンライン
6月20日	母子保健体制強化事業研修会	宮城県子ども総合センター
7月12日	SST（ソーシャルスキルトレーニング）研修会	宮城県精神福祉センター
7月19日	第2回気仙沼市小中学校再編検討委員会	気仙沼市教育委員会
8月 1日	令和6年度第3回情報交換会	宮城県子ども総合センター

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
8月 2日	母子保健体制強化事業研修会	オンライン
8月 8日	保育施設等従事支援員研修会	ワテン庁舎
8月17日	発達障害の基礎理解と対応	オンライン
8月21日	宮城県子ども総合センター付属診療所見学	宮城県子ども総合センター
8月21日	応用行動分析学の実践	気仙沼中央公民館
8月30日	教育と福祉の関連する発達障害者支援研修	気仙沼合同庁舎
9月 3日	第3回気仙沼市小中学校再編検討委員会	気仙沼市教育委員会
9月17日	第2回気仙沼市教育支援委員会	気仙沼市教育委員会
9月27日	子どもが安心して自分を発揮できるインクルーシブな保育	オンライン
10月 3日	第3回情報交換会	宮城県子ども総合センター
10月16日	子どもの発達「手の発達について」	気仙沼市松峰園
10月22日	子どもの発達「コミュニケーションについて」	気仙沼市松峰園
10月25日	地域の障害者雇用を考える情報交換会	歌津公民館
10月29日	子どもの発達「更衣動作について」	気仙沼市松峰園
11月 8日	気仙沼市小中学校再編検討委員会	気仙沼市教育委員会
11月11日	ペアレント・プログラム支援者研修	保健福祉部「すこやか」
11月12日	災害リスクから身を守る日頃からの準備と避難行動	伝承館
11月15日	生活・子ども支援部会ワーキングルーム	市民福祉センターやすらぎ
11月15日	気仙沼市手をつなぐ育成会連合会臨時理事会	面瀬小学校
11月19日	子どもの発達「言葉について」	気仙沼市松峰園
11月26日	第1回虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会	市社協本所
11月27～29日	強度行動障害支援者養成研修 基礎・実践研修	オンライン
12月 3日	気仙沼市小中学校再編検討委員会	気仙沼市教育委員会
12月 3日	宮城県発達障害者支援セミナーinみやぎ	宮城県子ども総合センター
12月 4日	気仙沼市障害福祉フォーラム事業所見学	のぞみ福祉作業所
12月4日～6日	強度行動障害支援者養成研修 基礎・実践研修	オンライン
12月 5日	障害者差別の解消に向けた講演会	ワテン庁舎
12月 6日	保健・医療・福祉等支援者向け「精神疾患を学ぶ」	気仙沼保健福祉事務所
12月12日	第5回 情報交換会	宮城県子ども総合センター
12月17日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	オンライン
令和7年1月10日	気仙沼地域障がい者就労セミナー共に働く	気仙沼保健福祉事務所
1月17日	心の健康「ストレス対処法」	オンライン
1月27日	第2回南三陸特別支援コーディネーター連絡協議会	南三陸町教育委員会
1月28日	てんかん研修会「知って安心・てんかん」	オンライン
1月31日	ひきこもり支援者向け研修	気仙沼保健福祉事務所
2月 4日	宮城県特別支援連絡協議会報告書	総合教育センター
2月17日	ペアレント・プログラムスキルアップ研修会	宮城県子ども総合センター
3月17日	第6回 情報交換会	宮城県子ども総合センター
3月18日	令和6年度指定障害者福祉サービス事業者集団指導	オンライン

【成果】気仙沼市マザーズホームで取り組んでいる5つの事業（児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業・保育所等訪問支援事業・宮城県障害児等療育支援事業・宮城県発達障害者地域支援マネジャー配置業務）では、相談支援専門員や関係機関からの評価が高く、一定数の利用者を確保することができ経営的にも順調に事業を運営することができました。家族支援である「ペアレント・プログラム」は、行政からの協力体制があり家族支援の大きな柱の一つとなっています。今後も各関係機関と連携しながら、地域にとって必要な専門支援事業所としての機能を担っていききたいと思います。

【課題】人口減に伴う出生児の減少により、将来的に利用児の減少が想定されます。乳幼児健診後のフォローアップ会等に参加し、当園の利用に繋がるように努めていきます。保育所等訪問支援事業は支援内容の理解が進み当該事業の利用が増えてきています。これからもニーズは高まることと思います。放課後等デイサービス事業において、学校の長期休業中の活動場所として近隣の施設を活用している状況から、支援内容を工夫しながら対応する必要があります。今年度より不登校児支援に取り組み、当事業所において対象児の居場所作りに努めてきました。当園が関わる全ての事業において、保護者や各関係機関からの要望と困難対応ケースが増えてきており、研修や資格取得等を通じて、職員の更なるスキルアップに取り組む必要があります。

【今後の取組】これまでの活動実績により、関係機関との連携が構築され保育所等訪問支援事業や宮城県障害児等療育支援事業、宮城県発達障害者地域マネジャー配置業務が地域に定着し始めました。今後は療育や相談機関としての中核的役割が求められていきます。令和8年度の児童発達支援センターへの移行を視野に入れ、行政と連携を図りながらペアレント・プログラムやペアレント・トレーニングを取り入れた保護者支援と利用者・家族に寄り添った支援を心掛けていきます。

【決算】事業活動による収入	75,303,140円	事業活動による支出	44,347,354円
その他の活動による収入	647,920円	施設整備等により支出	987,360円
		その他の活動による支出	31,459,800円
		（基金への繰出30,900,000円含む。）	
		当期資金収支差額	-842,254円
		（前期末支払資金残高から充当）	

(4) 指定特定相談支援事業（松峰園相談支援センター）

【概要】障害者総合支援法に基づき、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況に応じて、適切な福祉サービスが総合的かつ効果的に指定計画相談支援及び指定障害児相談支援を行いました。

【事業実績】

月	新規契約者	実契約者	計画作成者数	更新	モニタリング
4	障害者	0	50	0	8
	障害児	2	30	1	6
5	障害者	0	50	2	6
	障害児	1	31	1	9
6	障害者	0	50	6	12
	障害児	0	31	4	6
7	障害者	1	50	1	9
	障害児	2	34	2	7
8	障害者	0	50	2	3
	障害児	11	44	0	8
9	障害者	0	50	1	23
	障害児	1	44	2	9
10	障害者	0	50	1	8
	障害児	0	45	2	7
11	障害者	0	50	1	6
	障害児	0	45	5	5
12	障害者	0	50	1	15
	障害児	0	45	5	7
1	障害者	0	49	1	11
	障害児	1	46	4	5
2	障害者	0	48	2	2
	障害児	0	44	6	2
3	障害者	1	49	6	13
	障害児	0	44	8	3
計	障害者	2	596	25	116
	障害児	18	483	40	74
前年度	障害者	0	306	14	63
	障害児	4	136	7	26

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和6年4月17日	第1回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
5月10日	気仙沼市特別支援教育推進委員会	魚市場前庁舎（教育委員会）
5月15日	第2回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
6月19日	第3回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
7月5日	一体的運営に係る定期ミーティング	市民福祉センターやすらぎ
7月17日	第4回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
8月21日	第5回相談支援連絡会	キングスビレッジ
9月18日	第6回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
9月30日	療育等支援事業による支援会議	月立小学校
10月16日	第1回相談支援専門員研修会	市民福祉センターやすらぎ
	第7回相談支援連絡会	
10月31日	気仙沼市障害者地域自立支援協議会	市民福祉センターやすらぎ
	生活・子ども支援部会	
11月15日	気仙沼市障害者地域自立支援協議会	市民福祉センターやすらぎ
	生活・子ども支援部会ワーキンググループ	
11月19日	気仙沼市権利擁護研修会	ワンテン庁舎
11月20日	第8回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
12月18日	第9回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
	第2回相談支援専門員研修会	
令和7年1月15日	第10回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ
1月21日	第3回気仙沼市権利擁護研修会	ワン・テン庁舎

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
2月26日	気仙沼市障害者地域自立支援協議会 生活・子ども支援部会ワーキンググループ	市民福祉センターやすらぎ
3月6日	第2回気仙沼市特別支援教育推進委員会	魚市場前庁舎（教育委員会）
3月19日	第12回相談支援連絡会	市民福祉センターやすらぎ

※今年度より、一体的運営に係る、定期ミーティング（通称：igasu）を毎週末開催している。

【成果】障害者については、本人の意思決定を求めるとともに、関係機関と連携し個々に応じたサービス変更を実施し、本人が安心してサービスを利用できるよう取り組みました。障害児については、転居・転入となった世帯に対して、地域の相談事業所と連絡を取り合うことで、スムーズなサービスの継続利用が提供できるよう調整を行いました。また、各事業所への直接訪問を行い、利用される方々の実際の活動の様子を確認し、必要に応じて担当者会議の開催や関係機関との情報共有を図りました。毎月1回の相談連絡会や毎週行われる定期ミーティング（通称：igasu（イガス））に参加し、辞令検討やGSV（グループスーパービジョン）により、相談業務の質の向上に努めました。

【課題】利用者及び家族の高齢化に伴い、突発的なサービス変更への対応が予想されることから、地域にあるサービスの種類や障害支援区分申請、地域生活支援拠点への登録等について、今まで以上にをわかりやすく説明・周知する必要があります。

【今後の取組】気仙沼市障害者生活支援センターを始めとする、他の相談支援事業所や各関係機関との連携強化を図り、積極的に研修会等へ参加し、業務スキルの向上に取り組みます。

【決算】事業活動による収入5,530,330円	事業活動による支出	1,636,288円
	施設整備等による支出	164,780円
	その他の活動による支出	3,500,000円
	（基金の繰出し3,500,000円含む）	
	当期資金収支差額	229,262円

(5) 指定共同生活援助事業（グループホーム「つばさ」）

【概要】障害者総合支援法に基づき、利用者の自立と社会経済活動への参加を促進するため、地域で共同して日常生活を円滑に営むことができるよう、利用者の心身の状況に応じて、買物支援や通院支援等について日常生活の援助を適切に行いました。

【事業実績】

月	在籍者数	開所日数	入所者数	退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	4	23	0	0	85	3.7
5	4	23	0	0	86	3.7
6	4	20	0	0	76	3.8
7	4	24	0	0	91	3.8
8	4	19	0	0	70	3.7
9	4	22	0	0	85	3.9
10	4	23	0	0	77	3.3
11	4	22	0	0	84	3.8
12	4	22	0	0	86	3.9
1	4	21	0	0	71	3.4
2	4	21	0	0	79	3.8
3	4	23	0	0	88	3.8
計	48	263	0	0	978	3.6
前年度	48	266	0	0	973	3.6

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
4月20日	職員研修（職員の能力向上について）	気仙沼市松峰園
7月9日	職員会議（ケース検討・職員体制について）	気仙沼市松峰園
7月20日	職員研修（利用者への接し方について）	気仙沼市松峰園
8月30日	アンガーマネジメント研修	オンライン
9月6日	世話人・職員研修（感染症について）	気仙沼市松峰園
9月6日	前期モニタリング	気仙沼市松峰園
9月12日、18日	個別面談	気仙沼市松峰園
、19日	個別面談	気仙沼市松峰園
9月25日	後期個別支援計画原案会議	気仙沼市松峰園
11月19日	気仙沼市権利擁護研修会	ワン・テン庁舎
11月22日	支援会議	気仙沼市松峰園
12月4日	気仙沼市障害福祉フォーラム「事業所見学」	洗心会 のぞみ福祉作業所
10日	職員研修（ハラスメントとその対策について）	気仙沼市松峰園
令和7年1月21日	気仙沼市権利擁護研修会	気仙沼市役所
2月28日	世話人・職員研修（事業継続計画兼避難確保計画について）	ワン・テン庁舎
2月28日	後期モニタリング	気仙沼市松峰園
3月4、10、12日	個別面談	気仙沼市松峰園
3月21日	R7年度前期個別支援計画原案会議	気仙沼市松峰園

【成果】利用者から週末の帰省についての要望を聞きながら、バックアップ施設である気仙沼市松峰園の臨時開所に合わせ土日の利用を促し、利用者個々により沿った支援を行いました。また、新型コロナウイルス感染者が1名発生しましたが、家族と連携を取りながら、感染拡大防止に努めました。

【課題】入居者の高齢化によって、年を経るごとに通院支援のほか、排泄や身の回りの介助支援が増えています。また、離職した世話人の人材確保が難しく、早急に職員体制を整備する必要があります。

【今後の取組】感染症等への対策を取りながら、入居者の日々の健康管理に努め、安心して利用することができるよう一人ひとりに寄り添った支援に取り組めます。

【決算】事業活動による収入 5,459,880円 事業活動による支出 5,604,870円
164,780円
当期資金収支差額 -309,770円
（前期末支払資金残高から充当）

9. 居宅介護等事業

【概要】障害者総合支援法に基づき、障害をもった方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関との連携を密にし、心身の特性を踏まえたきめ細やかな居宅介護計画によるサービス提供に努めました。

(1) 訪問介護ステーションからくわ

【事業実績】

居宅介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	10	10	11	10	11	11	11	11	11	11	9	10	126	145
回	124	106	118	131	129	129	130	133	128	134	103	112	1,477	1,576

同行援護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	3	3	3	2	2	3	2	2	1	2	2	2	26	32
回	9	7	9	5	5	5	4	4	2	4	3	4	61	111

【成果】利用者一人ひとりの障害の特性を理解し、個々の疾患に合わせた支援計画を基にサービス提供に努めました。状態変化を確認した場合は、早急に関係機関と連携を図り、支給量に伴うサービス提供時間等を検討しながら必要なサービスが提供できるように迅速に対応しました。また、チーム一丸となり感染予防対策、事故防止対策に取り組みました。

(障害福祉サービス等事業収入目標達成率・居宅介護 103.4% 前年度 130.9%)

(障害福祉サービス等事業収入目標達成率・同行援護 105.5% 前年度 51.1%)

【課題】疾病の進行や利用者の高齢化、介護者の介護力低下で在宅生活の継続が難しくなり施設入所を検討するケースが増えています。ヘルパーの高齢化と人材不足も深刻になっており、後継者不足が心配されます。

【今後の取組】住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができるよう、関係機関で最善のケアを考え実践します。また、ヘルパーとしての基本の徹底とケアの質の向上を図り、感染予防や災害時の対応の強化、利用者の健康と安全確保に努めます。

【決算】事業活動収入 16,006,843 円 (居宅介護 15,341,240 円、同行援護 665,603 円)

事業活動支出 9,550,630 円 (居宅介護 9,111,540 円、同行援護 439,090 円)

施設整備等による支出

496,870 円 (居宅介護 496,870 円、同行援護 0 円)

その他の活動による支出

4,500,000 円 (居宅介護 4,500,000 円、同行援護 0 円)

(基金への繰出 4,500,000 円含む)

当期資金収支差額 1,459,843 円 (居宅介護 1,232,830 円、同行援護 226,513 円)

(2) ヘルパーステーションもとよし

居宅介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108	91
回	114	120	107	119	120	113	122	113	113	109	110	114	1,374	1,219

同行援護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	4	4	5	4	4	4	4	4	5	4	4	4	50	40
回	45	48	55	50	33	40	47	45	45	50	44	45	547	526

【成果】障害を持った方の心身の特性と能力を踏まえた自立生活支援に努めました。関係機関との連携を密にし、本人や家族の不安を軽減するための助言やサービスを提供しました。今後も総合的に支援できる体制づくりに力を注いでいきます。

(障害福祉サービス等事業収入目標達成率・居宅介護 101.1% 前年度 145.7%)

(障害福祉サービス等事業収入目標達成率・同行援護 104.7% 前年度 123.5%)

【課題】利用者のほとんどが独居世帯であり、地域や支援相談員などの関係機関との連携が不可欠です。また、訪問に際しても職員の平均年齢の上昇に伴い、若手を含むヘルパー育成を含めた提供体制の再構築が課題となっています。

【今後の取組】住み慣れた地域で安心して生活できるように、一人ひとりのニーズに合わせた迅速かつ丁寧な質の高いサービス提供が図れるように、研修会等へ積極的に参加し、職員個々の自己研鑽に努めます。また各関係機関との連携を密にし、職員間の意思疎通を徹底して体制の構築に努めます。

【決算】事業活動収入 10,120,917 円 (居宅介護 6,096,298 円、同行援護 4,024,619 円)

事業活動支出 8,949,427 円 (居宅介護 5,131,427 円、同行援護 3,818,000 円)

施設整備等による支出 823,900 円 (居宅介護 823,900 円、同行援護 0 円)

当期資金収支差額 347,590 円 (居宅介護 140,971 円、同行援護 206,619 円)

10. 地域生活支援事業

【概要】障害者総合支援法に基づく気仙沼市障害者地域生活支援事業実施規則に則り、重度の障害をもつ方への移動入浴車による入浴サービスを提供します。

(1) 訪問入浴サービスもとよし

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67

【成果】周知活動は継続していますが、利用者はありませんでした。

(障害福祉サービス等事業収入目標額達成率 0% 前年度 66.6%)

【課題】各関係機関への周知活動は継続し、新規利用の受け入れを随時図っています。

【今後の取組】利用者確保にむけた周知活動を継続するとともに、利用者や家族とのコミュニケーションを大切にし、他職種との連携を密にしながらチームケアに取り組みます。障害に関する各種研修会等に積極的に参加し、職員個々の資質向上に努めます。

【決算】事業活動収入 0 円 事業活動支出 0 円 当期資金収支差額 0 円

11. 在宅福祉事業

事業名	内 容
移送サービス事業	【概要】家庭外への移動困難者について、リフト付ワゴン車の運行による移送や車両貸出を行うことで、社会生活への参加促進を図りました。 【実績】貸出利用 22 件、移送 休止中 【成果】転院や施設入所のために利用する方の他、通院やリハビリを兼ねた外出などで定期的に利用される方もおり、費用面で助かっているという声をいただいています。 【課題】移送については、運転ボランティアの確保が出来ず、稼働していない状況が続いています。震災後は利用及び問い合わせがほぼ無い状況のため、今後の取り組みについて検討する必要があります。 【今後の取組】当面は貸出を中心に事業を実施します。 【決算額】 348,140 円
在宅ふれあい型交流事業	【概要】虚弱な一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯との交流を対象にふれあい型の食事サービス・お茶のみ会等へ補助金を交付。食事サービスについては、地域や季節によって、配食と会食の形態があります。 【実績】申請団体：8 団体 利用者延べ：1,429 人 【成果】配食や会食を通してボランティア団体と地域高齢者等が交流することで、安否確認を兼ねた見守りや孤立防止に繋がっています。 【課題】地区ボランティアクラブの事業として地区社協圏域での実施がほとんどですが、見守りが必要な高齢者が増えていることから、より身近な自治会単位での取り組みが必要と考えます。 【今後の取組】実施団体が増えるよう、地域活動や支え合い活動の大切さと活動により生まれる効果などを周知しながら、地域での見守り事業の一つとして実施を呼び掛けます。 【決算額】 489,353 円
安否確認訪問サービス事業	【概要】宮城中央ヤクルト販売(株)さんらいずセンターの協力を得て、常に見守りを必要とする高齢者世帯に対し、週 1～3 回の対面による声掛け訪問で乳酸菌飲料をお届けすることで安否確認を行います。 【実績】利用者：11 人 利用延本数：954 本 【成果】一人暮らし及び高齢者世帯の方の見守りの一助となっています。また、不在の連絡が入ることはありましたが、緊急対応となるケースはありませんでした。 【課題】利用者不在時の対応や社協への連絡の遅れについては、継続した課題となっています。 【今後の取組】業者との連絡を密に取り合い、不在時等の対応について改善を目指します。 【決算額】 39,304 円
介護機器・福祉用具貸出事業	【概要】所有する福祉用具の貸出により、要介護状態にある方の在宅生活を支援するとともに、ボランティア活動や福祉教育活動の積極的な企

	画や参加を促進しました。 【実績】 延べ貸出数 気仙沼 車いす 26 台 ベッド 0 台 本吉 車いす 16 台 ベッド 2 台 【成果】通院や退院の際に使用されたほか、旅行などの際に借用されたケースも多く、要介護状態にある方の社会参加の一助となりました。また、福祉教育での活用や団体が実施する事業への活用など、広く活用いただくことができました。 【課題】以前より子ども用の車いすや歩行器など、本会未所有の福祉用具の問い合わせがあります。一時貸出という性質を踏まえつつ、貸し出し物品について検討が必要です。 【今後の取組】引き続き福祉用具の貸し出しを行うとともに、貸出物品の見直しや拡充について検討を行います。 【決算額】介護機器貸出事業 6,000 円
生活支援型食事サービス	【概要】見守りを必要とする虚弱な高齢者の単身世帯等へ定期的に食事を提供することで、安否確認を行っています。毎週火・木・金曜日のうち週 1～2 回の利用ができるものとし、民生委員・児童委員、ボランティア等の協力を得て実施しています。 【実績】 気仙沼地域 利用者：15 人 配食数： 701 食 唐桑地域 " : 4 人 " : 127 食 本吉地域 " : 15 人 " : 328 食 " 計 34 人 " 計 1,156 食 【成果】緊急対応となるケースはありませんでした。新規申請があった際に、ケア会議が実施されることで適切なサービス利用に繋がっています。 【課題】委託元である市担当課と本事業の在り方や考え方等を協議しながら、事業実施について社協内で検討する必要があります。 【今後の取組】市担当課と定期的に話し合いの場を設けます。また、定期的に利用者のモニタリングをし、適切な利用の維持に努めます。 【決算額】生活支援型給食サービス事業 3,160,513 円
生きがい活動支援通所事業 (元気老人デイサービス事業) 気仙沼・唐桑地区	【概要】おおむね 65 歳以上の高齢者を対象に、市民福祉センター、保健福祉センター及び地域の福祉施設、振興会館、公民館等において、生きがい活動援助員による通所サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消や自立生活の助長及び要介護状態となることの予防を図りました。 【実績】 延利用回数 : 364 回 延利用者数 : 7,922 人 【成果】集い会員・介護予防事業への参加者にも引き続き感染予防対策に協力いただきながら施設利用後の消毒の徹底・片付けに取り組み、市民福祉センターやすらぎを拠点に、公民館等も利用しながら、各種集い

や介護予防事業を実施しました。会員数の多い健康麻雀については、雀卓に飛沫防止シートの設置や開始前後の牌等の消毒等を徹底し、一堂に会して行いました。人気のある集いのため雀卓の増と新規会員募集を行い、午後まで延長しての大会等も数回行うことができました。他に、介護予防事業においても、新種目「フラダンスを入れたことにより新規も増え、多くの方に参加していただきました。「福寿草まつり」「作品展示会」においては、昨年度より多くの方に観覧いただき、これをきっかけに集いに興味を持ち会員増につながりました。

【課題】昨年度に引き続き「パークゴルフ体験会」を開催することにしていましたが、グラウンドの悪状況により中止となりました。初回と比べて参加人数が減少したことから、天候に左右されない多くの会員が参加し交流できる内容の検討が必要です。

多くの方に観覧いただけるよう、作品展示会開催期間中のフリー送迎バスの運行等を検討し実施します。

【今後の取組】健康麻雀の集いについては、要望により30分前倒しで時間を延長して実施します。引き続き高齢者の学びの場・健康づくりの場として楽しい仲間づくりの機会を提供し、高齢者の健康増進やフレイル予防支援に努めます。

本吉地区

【実績】 延利用回数 : 235回

延利用者数 : 2,398人

【成果】感染対策を徹底して実施したほか、家庭での手洗いなどと呼びかけ安心して参加いただけるよう努めました。利用者の希望により世代間交流や料理教室、他団体との交流なども取り入れ、喜びや意欲につながりました。身体を動かす機会を設定し、理学療法士により家庭でも実践できる体操等を指導いただき、活動時に毎回取入れフレイル予防に努めました。

また、地域での生活が安心安全に過ごせるよう、交通指導隊や宮城県消費生活相談専門員の協力により講話や寸劇にて注意喚起を促しました。

館岡地域においては、市の「高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施」の対象となり、健康寿命の延伸を目的として専門職による生活状況調査にて食生活の振り返りのほか、口腔機能低下や運動機能低下防止などフレイル予防に関する具体的指導により、健康に関する啓発と意識づけを行うことができました。

【課題】

加齢によりお世話される方の負担があり、担い手がないことから話し合いを重ね解散した団体がありました。交流の場を希望する声もあり、フレイル予防からも再検討が必要です。

【今後の取組】殆どの地域では、この事業が唯一交流の場であり情報源

	となっています。関係機関の講話等を継続し、健康寿命の延伸を図るとともに、趣味活動のプログラムも再検討しながら新たな仲間づくりや交流機会の支援に努めます。 【決算額】 19,614,016 円
家族介護者交流事業	【概要】高齢者を介護している方々の介護者相互の交流を通し、一時的ではありますが介護から開放することにより、気分転換や心身のリフレッシュを図ることに努めました。 【実績】 1回 7月12日（金） 参加者14名 内容 日帰り交流 「入浴、個別健康チェック、個別健康・介護相談等」 2回目 3月18日（火） 参加者 8名 内容 日帰り交流 「入浴、個別健康チェック、個別健康・介護相談等」 【成果】参加された介護者は、この交流事業を楽しみにされており、参加者同士の交流などで日頃の悩みなどをお互いに情報交換することで、リフレッシュに繋げることができました。 【課題】多くの介護者の方が参加できるように事業企画や周知方法を今後も検討していく必要があります。 【今後の取組】介護者の方々が参加してみたいと思える企画の立案と周知方法の工夫のほか、ケアマネ事業所へも事業にご理解を頂き周知や介護者が参加できるようサービス調整などを行って貰えるよう働きかけながら事業を実施します。 【決算額】 139,011 円
家族介護教室事業	【概要】高齢者を介護している家族等に対し、介護者が求めるテーマに基づく家族介護教室の開催により、要介護高齢者の状態の維持・改善を図るとともに、在宅生活の質の向上を図ります。 【実績】 10月24日（木） 参加者 9名 内容 講話「腰に負担をかけない介護の仕方」（移乗介護等） 【成果】在宅で介護される際に役立つ正しい姿勢での介助や移乗方法など実演や体験を交えて行うことで、実践的な内容で行うことができた参加された方のアンケートでも自宅でも試してみたいなどという意見が多く聞かされました。 【今後の取組】参加者に協力頂いたアンケート内容を基に、関心の高いテーマを取り上げ、参加者にとって有意義な教室になるよう努めるとともに、より多くの方が参加できるように周知方法を検討します。 【決算額】 9,601 円

生活支援体制整備事業	【概要】 互助を基本とした地域主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を推進するとともに、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、支え合いの体制づくりの充実・強化を図ることを目的に活動しました。地区社協圏域ごとに担当職員（地域支え合い推進員）を専任配置し、支え合いの地域づくりに取り組みます。 【実績】 ・第1層地域支え合い推進員（兼任1名）活動件数 210件 ・第2層地域支え合い推進員（専任9名）活動件数 5,282件 ・社協だよりによる地域活動の紹介・発信 ・地域支え合い推進員連絡会議開催 12回 ・第1層地域支え合い推進員定例会参加 12回 【成果】 地域ごとの集いの場や支え合いの地域づくりに向けて、第2層地域支え合い推進員が地域の関係者や住民と丁寧に向き合いながら、新しい取り組みに関する情報提供や活動内容の提案など、次に繋がるよう働き掛けを行っています。また、フレイル予防サポーターとして講座等へも随時協力しながら、様々な機会を捉え地域との繋がりづくりに努めています。地域支え合い推進員と一緒に地域活動を支援協力する目的の地域支え合い協力員の配置状況は、9地区社協圏域で14人となっています。 【課題】 地域での様々な支え合い活動の把握や集まる場への関わりだけでなく、地域ごとに把握した声などの課題を整理しながら、課題解決に向けた話し合いの場づくりに向けた支援など、新たな活動への働き掛けが必要です。 【今後の取組】 広報紙発行のほか各地域でのパネル展示実施による事業周知や地域支え合い活動の周知機会を拡大していきます。また、地域で集う場の開催支援に努めながら、日常生活圏域ごとに話し合いの場（協議体）の設置を進めるなど住民主体の地域づくり意識の醸成に向けたきっかけづくりを行います。 【決算額】 29,532,766円
-------------------	--

【決算】 事業活動収入	13, 194, 970 円	事業活動支出	13, 174, 364円
		その他の活動による支出	567, 240円
		当期資金収支差額	-546, 634円
		(前期支払資金残高から充当)	

(2) 津谷居宅介護支援事業所

【概要】利用者の立場に立ち、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、生活全体を支える自立支援に向けたケアマネジメントの視点を常に意識し、関係機関と連携しながらサービス提供に努めました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4 人	14	21	35	42	26	16	18	9	111	146
5 人	14	18	32	40	27	19	16	11	113	145
6 人	15	19	34	41	26	18	15	12	112	146
7 人	15	19	34	41	29	18	14	12	114	148
8 人	15	19	34	39	30	18	14	12	113	147
9 人	16	18	34	39	29	18	13	11	110	144
10 人	16	18	34	41	33	19	13	12	118	152
11 人	17	18	35	40	33	19	14	10	116	151
12 人	17	18	35	39	27	16	16	9	107	142
1 人	15	18	33	40	25	17	15	9	106	139
2 人	13	18	31	39	26	18	12	6	101	132
3 人	12	18	30	40	27	15	14	7	103	133
計 人	179	222	401	481	338	211	174	120	1324	1725
前年度 人	154	257	411	563	455	179	264	131	1,592	2,003

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和6年4月24日	虐待防止の取り組み～尊厳を守る為に～	オンライン
5月25日	令和6年度ケアマネジメントセミナー 本人主体の意思決定支援	オンライン
6月10日	高齢者虐待と身体拘束の基本理解と防止の為の実践的な取り組み	オンライン
6月14日	認知症ケアを正しく理解し認知症の人との関わり方を知る	オンライン
7月2日	令和6年度居宅介護支援専門員研修会	保健福祉センターいこい
7月9日	他法人居宅介護支援事業所合同研修会	社協本吉支所地域福祉活動室
7月11日	令和6年度介護支援専門員研修・更新研修Ⅱ	オンライン
7月17日	ヤングケアラーについて学ぶ	オンライン
7月20日	令和6年度介護支援専門員研修・更新研修Ⅱ	オンライン
7月24日	感染症対策研修	オンライン
7月30日	令和6年度介護支援専門員研修・更新研修Ⅱ	オンライン
8月6日	令和6年度介護支援専門員研修・更新研修Ⅱ	オンライン
8月30日	令和6年度アンガーマネジメント研修	オンライン
9月30日	介護現場でのハラスメント対策について	オンライン
12月6日	令和6年度介護支援専門員実務研修指導者研修	オンライン
12月10日	令和6年度依存症関連支援者研修会	気仙沼保健所
12月18日	多職種連携研修会 高齢者虐待防止と権利擁護について	ワン・テン
令和7年1月10日	他法人居宅介護支援事業所合同研修会	社協本吉支所地域福祉活動室
1月21日	令和6年度気仙沼市権利擁護研修会	ワン・テン
1月30日	職員スキルアップ研修 権利擁護・虐待防止研修会	いこい
3月18日	気仙沼市立病院包括ケア病棟研修会	気仙沼市立病院附属看護学校
毎月1回	医療連携事例検討会	気仙沼市立病院附属本吉医院
毎月1回	ケアマネ定例会	社協本吉支所地域福祉活動室
毎週1回	事例検討、伝達会議	事業所内
毎月1回	職員会議	事業所内
毎月1回	本吉支所定例会議	社協本吉支所地域福祉活動室

【成果】包括からの依頼だけでなく、利用者家族や入所施設からの新規依頼があり対応しました。急遽サービス調整が必要になる方も多く、早めの対応を心掛け、医療機関や事業所との連携を密にし、利用者や家族が安心して生活できるようサービス調整を図りました。介護サービスが必要な状況にありながら受入れが難しい包括からの依頼には、事業所との連携によりサービスに繋げることができました。職員1名減となりましたが、可能な限り新規利用者を受け入れました。

【課題】認知症で独居の方、高齢者世帯でご家族が遠方に居住しているケース等、救急時の対応が難しく、在宅生活に限界があり入所される方も多い状況でした。体調や環境に不安がありながらもサービス利用されていない方に対して、足を運ぶことも多いものの実績値に反映されていない現状もありました。

【今後の取組】令和7年度は、全員が主任ケアマネの資格取得者となる予定であり、事業所全体の質の向上、信頼関係の更なる構築に努め、引き続き感染予防等、健康管理に留意しながら事業を推進します。

【決算】事業活動収入	26,470,900円	事業活動支出	19,183,256円
		その他の活動による支出	6,373,840円
		(運用基金積立金への操出し5,200,000円含む)	
		当期資金収支差額	913,804円

(3) 訪問介護ステーションからくわ

【概要】利用者や家族の意向を尊重し、望まれる在宅生活を送ることができるように、心情に寄り添ったサービス提供に努めました。

【事業実績】

月	事業対象者	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計	
4	人	0	5	11	16	10	5	6	4	1	26	42
	回	0	30	83	113	106	48	118	151	40	463	576
5	人	0	7	9	16	11	4	6	4	1	26	42
	回	0	39	67	106	115	50	121	153	36	475	581
6	人	0	4	10	14	10	4	6	3	1	24	38
	回	0	22	70	92	109	50	97	96	34	386	478
7	人	0	4	12	16	12	3	5	5	1	26	42
	回	0	23	84	107	127	43	98	162	34	464	571
8	人	0	4	11	15	10	7	5	4	1	27	42
	回	0	21	74	95	119	131	100	118	36	504	599
9	人	0	4	10	14	13	5	5	3	1	27	41
	回	0	19	68	87	124	64	92	99	34	413	500
10	人	0	4	9	13	8	5	5	3	1	22	35
	回	0	22	70	92	73	69	103	101	36	382	474
11	人	0	4	8	12	8	5	4	4	1	22	34
	回	0	22	54	76	82	65	84	101	34	366	442
12	人	0	3	10	13	8	6	4	3	1	22	35
	回	0	14	67	81	90	113	86	66	30	385	466
1	人	0	4	9	13	8	7	7	2	1	25	38
	回	0	19	55	74	105	82	115	28	46	376	450
2	人	0	3	8	11	8	6	5	2	2	23	34
	回	0	16	34	50	96	66	86	18	48	314	364
3	人	0	3	9	12	8	6	5	2	1	22	34
	回	0	18	57	75	105	69	90	24	15	303	378
計	人	0	49	116	165	114	63	63	39	13	292	457
	回	0	265	783	1,048	1,251	850	1,190	1,117	423	4,831	5,879
前年度	人	0	36	83	119	87	41	60	46	28	262	381
	回	0	171	564	735	858	683	1,196	1,719	674	5,130	5,865

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和6年5月17日	社協コスト削減支援に係るキックオフミーティング	社協本所
7月12日	令和6年度介護施設等感染症対策研修	社協唐桑支所
8月28日	令和6年度介護保険施設等集団指導	気仙沼保健福祉事務所
9月24日	令和6年度介護サービス事業者集団指導	社協唐桑支所(資料・動画)
10月23日	令和6年度感染症予防対策セミナー	気仙沼保健所
10月29日	令和6年度第1回感染症対策研修会	社協本所
11月18日	令和6年度認知症地域ケア推進研修会	気仙沼保健福祉事務所
11月26日	令和6年度第1回虐待防止・身体拘束適正委員会	社協本所
11月30日	第10回地域包括ケア住民フォーラム	ゲストハウス気仙沼アーバン
令和7年3月18日	令和6年度指定障害福祉サービス事業所等集団指導	松峰園(web配信)
3月19日	令和6年度第2回感染症対策委員会	社協本所
3月24日	障害福祉サービス請求事務研修会	市民福祉センターやすらぎ
3月26日	令和6年度第2回虐待防止・身体拘束適正委員会	社協本所
	スタッフ会議(月1回) 唐桑支所管理者会議(月1回)	

【成果】利用者の心身の状態や生活状況を把握し、介護計画に基づいたサービス提供ができました。また、迅速な対応や丁寧なケアを行うとともに、関係機関への働き掛けを行い利用者の確保に努めました。感染症等の影響による利用減は少なく、安心安全なサービスを心掛け業務を遂行しました。

【課題】利用は増加傾向にありますが、人材確保が厳しく新規の受け入れも難しい状況があります。ヘルパーの高齢化も深刻になっており、ますます後継者不足が加速すると予想されます。

【今後の取組】積極的に研修等に参加し、実践的な知識を身につけ、ケアの質の向上を目指します。また、感染症・災害発生時の業務継続に向けた取り組みの強化を図ります。

【決算】事業活動収入	23,488,609円	事業活動支出	18,084,639円
		その他の活動による支出	6,297,720円
		（運用基金事業への繰出 6,000,000円含む）	
		当期資金収支差額	-893,750円

(4) ヘルパーステーションもとよし

【概要】住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、利用者一人ひとりのニーズに応じた個別ケア計画に基づき、関係機関との連携の下、きめ細やかなサービス提供に努めました。

【事業実績】

【事業実績】												
月		事業対象者	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	0	7	13	20	14	12	6	9	7	48	68
	回	0	32	105	137	105	133	73	194	233	738	875
5	人	0	6	14	20	12	13	8	9	8	50	70
	回	0	27	118	145	78	167	92	208	250	795	940
6	人	0	7	14	21	13	12	8	9	9	51	72
	回	0	35	112	147	81	197	87	203	269	837	984
7	人	0	7	15	22	11	14	8	7	10	50	72
	回	0	32	123	155	89	187	86	197	256	815	970
8	人	0	7	15	22	11	12	7	8	11	49	71
	回	0	34	120	154	91	159	86	187	286	809	963
9	人	0	8	15	23	11	10	7	7	12	47	70
	回	0	38	119	157	89	135	84	125	328	761	918
10	人	0	7	16	23	12	11	6	4	12	45	68
	回	0	38	126	164	110	159	57	112	373	811	975
11	人	0	7	16	23	14	12	7	5	10	48	71
	回	0	36	118	154	81	132	63	115	255	646	800
12	人	0	7	16	23	12	12	6	8	9	47	70
	回	0	27	124	151	79	146	43	164	184	616	767
1	人	0	5	16	21	12	11	7	7	6	43	64
	回	0	23	121	144	80	116	56	178	126	556	700
2	人	0	6	14	20	12	11	7	6	5	41	61
	回	0	28	95	123	80	110	55	128	82	455	578
3	人	0	5	14	19	12	10	6	6	5	39	58
	回	0	26	99	125	94	109	66	147	77	493	618
計	人	0	79	178	257	146	140	83	85	104	558	815
	回	0	376	1,380	1,756	1,057	1,750	848	1,958	2,719	8,332	10,088
前年度	人	0	71	147	218	190	134	32	109	67	532	750
	回	0	322	1,043	1,365	1,395	1,451	319	2,363	1,448	6,976	8,341

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和6年5月27日	ノーリフティングケアから学ぶ離職防止 (WEB)	事業所内
5月28日	感染症について	事業所内
7月 4日	安全運転管理者講習会	気仙沼市中央公民館
8月22日	西仙台病院 出前講座	事業所内
8月28日	令和6年度介護保険施設等集団指導	気仙沼保健福祉事務所
9月18日	接遇マナーの基本を徹底解決 (WEB)	事業所内
10月29日	感染症対策委員会及び感染症対策研修会	社協本所
11月18日	認知症地域ケア推進研修会	気仙沼保健福祉事務所
12月20日	業務継続計画 (BCP) 研修会	本吉支所内
令和7年2月7日	床ずれ対策オンラインセミナー2024 (WEB)	本吉支所内
3月18日	令和6年度障害福祉サービス集団指導	気仙沼保健福祉事務所
	事業所内会議：ヘルパー会議、伝達研修 (訪問入浴合同で毎月開催)	

【成果】新規や変更依頼等に対応し、関係機関と連携を図り要望にそったサービスを提供することができ、全体的な利用者確保に繋がりました。

また、事業所内職員の体調不良等に伴う人員不足にも、職員間の連携にて対応し乗り切ることができました。

【課題】全体的な利用増には繋がりましたが、利用頻度が高い利用者が長期入院や入所になるケースも見られるため安定した利用率を保つことが難しい状況にあります。今後の事業継続や技術継承も含めた若手職員の人材確保と育成が必要不可欠です。

【今後の取組】今後もニーズに合わせた確かな知識と質の高い介護サービスを提供できるよう、研修会に積極的に参加し、情報共有を密にしたチームケアができるよう、全職員で連携を図りながら取り組みます。また、職員の意識を高め新規利用者獲得に向けて周知活動を行い、安定した経営ができるよう努めます。

【決算】事業活動収入 48,158,091円

事業活動支出 38,184,975円
 その他の活動による支出 9,613,440円
 (基金への繰出し9,000,000円含む)
 当期資金収支差額 359,676円

(5) 訪問入浴サービスもとよし

【概要】住み慣れた地域で安心して生活できるよう、利用者や家族の意向を尊重し、関係機関と連携して、利用者が満足できるよう適切なサービス提供に努めました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	0	0	0	2	3	9	7	21	21
	回	0	0	0	13	18	45	35	111	111
5	人	0	0	0	2	3	8	6	19	19
	回	0	0	0	15	17	43	33	108	108
6	人	0	0	0	2	3	9	7	21	21
	回	0	0	0	15	16	44	30	105	105
7	人	0	0	0	1	4	9	7	21	21
	回	0	0	0	9	24	61	40	134	134
8	人	0	0	0	1	4	9	7	21	21
	回	0	0	0	8	21	54	33	116	116
9	人	0	0	1	2	4	8	8	23	23
	回	0	0	5	13	19	39	34	110	110
10	人	0	0	1	2	4	8	9	24	24
	回	0	0	4	14	19	36	41	114	114
11	人	0	0	1	2	3	9	6	21	21
	回	0	0	4	12	16	42	27	101	101
12	人	0	0	1	2	2	13	6	24	24
	回	0	0	5	13	14	57	22	111	111
1	人	0	0	1	2	2	11	4	20	20
	回	0	0	4	12	11	52	17	96	96
2	人	0	0	1	2	2	10	4	19	19
	回	0	0	4	11	6	44	23	88	88
3	人	0	0	1	2	2	10	4	19	19
	回	0	0	5	13	9	49	24	100	100
計	人	0	0	7	22	36	113	75	253	253
	回	0	0	31	148	190	566	359	1,294	1,294
前年度	人	0	0	0	14	34	128	76	252	252
	回	0	0	0	67	136	563	361	1,127	1,127

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和6年5月27日	ノーリフティングケアから学ぶ離職防止 (WEB)	事業所内
5月28日	感染症について	事業所内
7月 4日	安全運転管理者講習会	気仙沼市中央公民館
8月22日	西仙台病院 出前講座	事業所内
8月28日	令和6年度介護保険施設等集団指導	気仙沼保健福祉事務所
9月18日	接遇マナーの基本を徹底解決 (WEB)	事業所内
10月29日	感染症対策委員会及び感染症対策研修会	社協本所
11月18日	認知症地域ケア推進研修会	気仙沼保健福祉事務所
12月20日	業務継続計画 (BCP) 研修会	本吉支所内
令和7年2月7日	床ずれ対策オンラインセミナー2024 (WEB)	本吉支所内
	事業所内会議：職員会議、伝達研修 (訪問介護合同で毎月開催)	

【成果】新規依頼時には、調査等も含めて迅速な対応を心掛けました。利用に関しては、医療関係者との連携を図りながら状態等の把握に努め、サービスを提供できました。女性オペレーターの育成にも力を入れ、連携を図りながら従事する側も不安なくできるように看護師、介護員、オペレーターが連携し、事故なく事業を継続することができました。

【課題】従事するスタッフを配置する上で、訪問介護と兼務のため職員体制を整えるのが難しい時期もありました。夏場猛暑日が多く、暑さのためスタッフの体調不良もあり、代替職員を再配置して稼働を継続する日もありました。身体の痛みや負担を抱えながら従事している職員もあり、心身に配慮する必要性を感じました。

【今後の取組】これからも新規依頼は断らない対応を継続し、訪問調整をしながら安定した経営を目指します。また、研修会等へ積極的に参加し、技術習得や職員間の情報共有を図り、より良いサービスの提供に努めます。

【決算】事業活動収入 20,253,167円

事業活動支出 15,746,946円
 その他の活動による支出 3,126,280円
 (運用基金積立金への操出し2,500,000円含む)
 当期資金収支差額 1,379,941円

(6) 燦さん館デイサービスセンター

【概要】要介護者・要支援者に対し尊厳ある自立支援と、家族の精神的・身体的負担の軽減に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	6	10	16	32	15	5	8	1	61	77
	回	27	64	91	214	101	30	69	10	424	515
5	人	7	13	20	32	14	6	12	2	66	86
	回	40	90	130	294	128	57	116	22	617	747
6	人	8	12	20	32	14	7	11	2	66	86
	回	39	90	129	286	117	69	110	22	604	733
7	人	9	13	22	31	16	7	9	2	65	87
	回	43	101	144	296	148	63	110	27	644	788
8	人	7	12	19	29	17	7	9	1	63	82
	回	33	89	122	258	153	72	98	13	594	716
9	人	7	13	20	28	18	8	8	1	63	83
	回	32	91	123	240	162	72	94	13	581	704
10	人	7	13	20	29	18	10	8	1	66	86
	回	37	98	135	287	187	93	91	13	671	806
11	人	8	12	20	29	19	9	7	1	65	85
	回	37	90	127	281	178	85	80	13	637	764
12	人	8	11	19	27	17	9	5	1	59	78
	回	29	78	107	243	156	83	43	9	534	641
1	人	7	12	19	23	19	7	5	1	55	74
	回	23	75	98	187	181	76	42	12	498	596
2	人	7	11	18	21	22	10	5	1	59	77
	回	29	83	112	179	201	86	44	12	522	634
3	人	7	11	18	20	20	10	6	1	57	75
	回	26	73	99	199	184	91	54	5	533	632
計	人	88	143	231	333	209	95	93	15	745	976
	回	395	1,022	1,417	2,964	1,896	877	951	171	6,859	8,276
前年度	人	74	125	199	354	194	104	103	19	774	973
	回	441	919	1,360	3,272	1,855	904	959	298	7,288	8,648

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和6年7月31日	令和6年度第1回施設長・管理者会議	春園会介護研修センター
8月26日	令和6年度 県集団指導（通所系）	県保健福祉事務所
9月4日	令和6年度気仙沼市指定介護保険サービス事業者説明会集団指導	リモート
9月12日	安全運転管理者・副安全運転管理者講習	気仙沼市中央公民館
9月24日	気仙沼市唐桑町防火管理者協会救命講習会	唐桑保健福祉センター
10月23日	令和6年度感染症予防対策セミナー	県保健福祉事務所
11月1日	虐待防止研修	県保健福祉事務所
11月18日	認知症地域ケア推進研修会	県保健福祉事務所
11月25日	令和6年度気仙沼市唐桑町防火管理者協会事業所指定訓練	気仙沼消防署（唐桑）
12月6日	令和6年度保健・医療福祉等の支援者向け「精神疾患を学ぶ」研修会	県保健福祉事務所
令和7年1月29日	令和6年度地域リハビリテーション推進強化事業「身体障害の理解啓発セミナー」	県保健福祉事務所
随時	本所事故防止対策委員会・支所管理者会議・虐待防止・身体拘束委員会研修会	

【成果】インフルエンザ・コロナウイルスなどの感染症対策を徹底し業務を行いました。追加利用、曜日変更、通院後の途中利用を促し利用者確保に努めました。

※延利用者人数 8,276人 前年8,648人 達成率96%

【課題】体調を崩して入院をし、退院後直ぐに施設へ入所する利用者が増えています。また、要介護度の高い方の利用が減り、要支援者の利用が増えています。なお、職員の高齢化が進み体制整備を図る必要があります。

【今後の取組】居宅支援事業所への営業活動により、利用者確保に努めます。また、地域の利用者、家族に寄り添い相談事には真摯に耳を傾け、確固たる信頼を得て地域から選ばれる施設になるよう努めます。

【決算】 事業活動収入 69,003,387円
その他の活動による収入 2,400,000円

事業活動支出 68,791,602円
施設整備等による支出 1,170,000
その他の活動による収入 1,334,040
当期資金収支差額 107,747円

(7) やすらぎデイサービスセンター

【概要】長く住み慣れた地域や自宅での生活を続けられるよう、一人ひとりの身体機能維持及び生活の質の向上を目指しながら介護サービスの提供に努めました。生活の中に張りや潤いを与え、介護者家族には身体的・精神的な介護負担の軽減が図られるよう職員一丸となり、適切な介護サービスの提供に取り組みました。

【事業実績】

月	事業対象者	要支援1	要支援2	小計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計	合計	
4	人	0	4	3	7	13	9	8	4	1	35	42
	回	0	13	13	26	103	78	63	34	3	281	307
5	人	0	3	3	6	11	10	9	4	0	34	40
	回	0	9	18	27	107	87	81	30	0	305	332
6	人	0	2	3	5	11	8	9	5	1	34	39
	回	0	4	16	20	94	81	69	35	1	280	300
7	人	0	2	3	5	10	11	9	6	0	36	41
	回	0	6	18	24	95	99	84	37	0	315	339
8	人	0	2	3	5	10	10	10	6	0	36	41
	回	0	7	15	22	90	93	92	37	0	312	334
9	人	0	2	3	5	10	10	10	7	0	37	42
	回	0	5	17	22	89	100	90	46	0	325	347
10	人	0	2	3	5	10	10	10	7	0	37	42
	回	0	9	16	25	98	112	96	57	0	363	388
11	人	0	2	3	5	10	10	9	6	0	35	40
	回	0	6	17	23	93	113	83	47	0	336	359
12	人	0	2	3	5	11	11	9	5	0	36	41
	回	0	7	16	23	95	114	80	35	0	324	347
1	人	0	1	4	5	10	11	8	3	0	32	37
	回	0	4	20	24	93	106	76	25	0	300	324
2	人	0	1	4	5	10	11	8	3	0	32	37
	回	0	4	20	24	85	102	79	24	0	290	314
3	人	0	2	4	6	10	11	8	3	0	32	38
	回	0	7	24	31	97	107	82	29	0	315	346
計	人	0	25	39	64	126	122	107	59	2	416	480
	回	0	81	210	291	1,139	1,192	975	436	4	3,746	4,037
前年度	人	0	26	30	56	207	111	120	50	13	501	557
	回	0	97	219	316	1,817	878	1,013	408	76	4,192	4,508

【研修・会議参加状況】

月 日	主な会議・研修	開催場所
令和6年8月26日	宮城県 介護サービス事業所 集団指導 (集合形式)	気仙沼保健福祉事務所
9月 9日	気仙沼市 介護サービス事業所 集団指導 (オンライン形式)	事業所内
適 宜	職員会議	事業所内
適 宜	その他、伝達研修を実施	事業所内

【成果】ニーズに応えながら、事業所としてできる範囲での対応に随時努めて来ましたが、利用者の減少に歯止めがかからず、前年度と比較し大幅な利用者の落ち込みと収入減となりました。

【課題】新規利用者の伸び悩み、入院・施設入所が相次いでいる状況が慢性的に続いています。また震災後に新築した施設も経年劣化が進み、その他備品等の修繕・購入等も必要となっていますが、現状の収支状況では費用の捻出もままならない状況にあります。

【今後の取組】令和7年2月から地域密着型通所介護へと移行しました。震災前から鹿折地域で営業して来た経験を活かしながら今回の移行を機に、より一層地域との結び付きや関係性を構築できるよう努め、今後も変わらず社協としての使命である地域に貢献する施設運営に取り組んで参ります。

【決算】事業活動収入	36,462,242円	事業活動支出	38,532,556円
その他の活動収入	4,506,414円	その他の活動支出	633,600円
運用基金から繰入	3,800,000円	当期資金収支差額	1,872,814円

(8) 大谷デイサービスセンター

【概要】住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、自立支援を目指したサービス提供に努め、社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに家族の負担軽減を図りました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	5	9	14	16	6	3	1	1	27	41
	回	18	55	73	153	47	32	8	17	257	330
5	人	5	9	14	16	6	3	1	1	27	41
	回	14	55	69	138	51	34	14	17	254	323
6	人	4	9	13	15	6	3	1	1	26	39
	回	12	54	66	132	45	29	13	15	234	300
7	人	4	9	13	14	7	2	1	1	25	38
	回	16	55	71	132	57	29	2	16	236	307
8	人	5	8	13	14	7	2	1	1	25	38
	回	17	45	62	125	51	27	5	21	229	291
9	人	6	8	14	15	6	3	1	1	26	40
	回	22	48	70	121	41	30	7	17	216	286
10	人	5	8	13	14	6	3	1	1	25	38
	回	19	47	66	120	38	26	8	11	203	269
11	人	5	8	13	11	4	4	2	1	22	35
	回	19	50	69	106	22	26	8	17	179	248
12	人	5	8	13	12	5	4	1	1	23	36
	回	21	44	65	102	24	29	5	16	176	241
1	人	5	8	13	12	5	5	1	1	24	37
	回	19	37	56	103	23	36	2	15	179	235
2	人	6	8	14	12	5	4	0	1	22	36
	回	26	45	71	114	31	32	0	15	192	263
3	人	6	8	14	13	5	4	0	1	23	37
	回	23	50	73	126	32	34	0	19	211	284
計	人	61	100	161	164	68	40	11	12	295	456
	回	226	585	811	1,472	462	364	72	196	2,566	3,377
前年度	人	27	103	130	187	136	64	10	14	411	541
	回	102	653	755	1,564	1,277	562	66	136	3,605	4,360

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和6年4月30日	入浴に関する研修・BCP検討会	事業所内
5月22日	感染症対策研修	事業所内
6月10日	認知症に関する研修・嚥下障害について	事業所内
7月11日	高齢者虐待防止に関する研修	事業所内
7月29日	運営推進会議	事業所内
9月17日	BCP研修・津波総合訓練	事業所内
9月21日	認知症に関する研修	事業所内
9月27日	集団指導内容検討会	事業所内
10月29日	感染症対策委員会	社協本所
11月26日	虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会	社協本所
12月 6日	気仙沼地区保健医療福祉研修大会	ゲストハウス気仙沼アーバン
12月12日	介護現場における医学的基礎知識	気仙沼市民会館
令和7年1月10日	嘔吐物処理実践・入浴に関する研修	事業所内
1月30日	権利擁護・虐待防止研修	本吉保健福祉センターいこい
3月 3日	入浴・認知症に関する研修	事業所内
3月19日	感染症対策委員会	社協本所
3月26日	虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会	社協本所
	随時：支所会議・職員会議・伝達研修	

【成果】昨年度末から長期入院や施設入所が続き、登録者、利用人数、収入が激減しており、利用日の増や臨時利用を柔軟に受け入れましたが、実績を回復することはできませんでした。夏祭りを地域に開放し、大谷幼稚園との合同行事で収穫祭を行う等、地域団体との交流を深めることで更なる関係構築に努めるとともに、感染症対策を的確に行い、事業所内でのまん延防止に努めました。

【課題】居宅介護支援事業所への声掛けを行いながら新規利用者獲得に努めていますが、解約者数が多く、登録者数は伸び悩む状況が続いています。物価高騰による給食委託業務費等の値上げや、経年劣化による施設設備の修繕等がかかり増し、必要経費が増えています。

【今後の取組】職員間でのカンファレンスや情報共有を日々行うことで連携を密にし、外部での研修の機会を活用することで、より良いサービス提供を目指します。デイ便りや地域開放日を継続し地域へのPRを行い、居宅介護支援事業所への訪問を定期的に行い、運営推進会議での意見や助言等を実践し新規利用者獲得に努めます。職員一人ひとりが自己管理と自己研鑽に努め、会議や日々のミーティングで業務の工夫と改善を図ります。

【決算】事業活動収入	30,797,789円	事業活動支出	32,278,743円
その他の活動による収入	3,800,000円	施設整備等支出	1,056,000円
(運用基金事業から繰入)	3,800,000円	その他の活動支出	338,040円
		当期資金収支差額	925,006円

(9) グループホーム桑の実

【概要】地域密着型の認知症グループホームとして、地域社会に根差した施設づくりを目標に事業を行いました。認知症により家族と離れ、施設に入居することになっても、家族や地域との繋がりを保ち、今までと同じように、安心して生活ができるように支援を行いました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	0	0	0	6	1	1	1	0	9	9
	回	0	0	0	163	30	30	30	0	253	253
5	人	0	0	0	6	1	1	1	0	9	9
	回	0	0	0	168	22	40	45	0	275	275
6	人	0	0	0	5	1	2	1	0	9	9
	回	0	0	0	133	19	60	30	0	242	242
7	人	0	0	0	3	2	3	1	0	9	9
	回	0	0	0	93	62	91	31	0	277	277
8	人	0	0	0	3	2	3	1	0	9	9
	回	0	0	0	93	62	93	31	0	279	279
9	人	0	0	0	3	2	3	1	0	9	9
	回	0	0	0	90	60	90	30	0	270	270
10	人	0	0	0	3	2	3	1	0	9	9
	回	0	0	0	93	62	65	31	0	251	251
11	人	0	0	0	3	2	2	1	0	8	8
	回	0	0	0	90	60	60	30	0	240	240
12	人	0	0	0	3	2	2	1	0	8	8
	回	0	0	0	93	62	62	31	0	248	248
1	人	0	0	0	3	2	2	1	0	8	8
	回	0	0	0	93	62	53	31	0	239	239
2	人	0	0	0	3	2	1	1	0	7	7
	回	0	0	0	84	56	28	28	0	196	196
3	人	0	0	0	4	2	1	1	0	8	8
	回	0	0	0	124	62	31	19	0	236	236
計	人	0	0	0	45	21	24	12	0	102	102
	回	0	0	0	1,317	619	703	367	0	3,006	3,006
前年度	人	0	0	0	50	33	24	2	0	109	109
	回	0	0	0	1,497	961	716	32	0	3,206	3,206

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和6年6月5日	入居検討会議	グループホーム桑の実
7月12日	感染症研修	燦さん館
7月30日	第1回桑の実運営推進会議	燦さん館研修室
8月27日	サービスの質向上研修会（高齢者の看取りと多職種連携）	仙台国際センター
9月26日	夜間想定避難訓練・第2回桑の実運営推進会議	グループホーム桑の実
10月23日	気仙沼保健所管内感染症予防対策セミナー	気仙沼保健所
10月29日	感染症対策委員会・感染症対策研修会	気仙沼市社会福祉協議会本所
11月18日	気仙沼圏域認知症地域ケア推進研修会	気仙沼保健所
11月19日	気仙沼市権利擁護研修会	ワントン庁舎
11月25日	気仙沼市唐桑町防火管理者協会 事業所指定訓練	気仙沼消防唐桑出張所
12月13日	第3回桑の実運営推進会議	燦さん館研修室
令和7年1月30日	第4回桑の実運営推進会議	燦さん館研修室
2月28日	第5回桑の実運営推進会議	燦さん館研修室
3月19日	感染症対策委員会・感染症対策研修会	気仙沼市社会福祉協議会本所
3月21日	自衛消防訓練 総合訓練・第6回桑の実運営推進会議	グループホーム桑の実
3月26日	虐待防止・身体拘束適正化委員会	気仙沼市社会福祉協議会本所
毎月開催	唐桑支所管理者会議	燦さん館
	桑の実ケア会議・スタッフ会議（各種内部研修）	グループホーム桑の実

【成果】各種内部・外部研修により、職員の認知症に対する理解や専門知識が向上しました。また、体調不良時の早期発見、早期対応が迅速となり、入居者や家族と良好な信頼関係を築き、施設については、市と協議し、感染症対策につながる空調設備を整えることができました。

【課題】入居申請者の減少により空室の総日数が増加している状況です。令和6年度は利用率が91.5%と、前年度（令和5年度97.3%）を大きく下回っています。介護報酬の処遇改善加算を上位加算に変更しているにもかかわらず、介護収入の目標達成率が、微増と伸び悩んでいます。満室に近い入居状況を保ち、介護報酬収入を増やすためには、認知症専門施設の実をどのように地域に発信し、新規入居申請者の獲得に繋げていくかが課題となります。

（介護収入目標達成率 令和5年度90.1%、令和6年度91.5%）

【今後の取組】地域の方々に認知症グループホーム事業を積極的に発信すること、他事業所との連携を密にすること、SNS等の情報発信について検討することで、新規申請者の獲得に繋げ、より安定した事業経営を目指します。また、質の良いサービス提供ができるように、各種研修に参加し、職員の質を向上するための取り組みを継続します。

【決算】事業活動収入	45,418,302円	事業活動支出	39,709,718円
		その他の活動による支出	3,704,560円
		運用基金積立金繰出	2,500,000円
		当期資金収支差額	2,004,024円

(10) もとよし福祉用具貸与事業所（福祉用具貸与）

【概要】福祉用具の有効活用による自立支援と介護者の負担軽減による介護機能の充実強化に努め、安心して在宅生活が継続できるようにサービスを提供しました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	7	19	26	17	26	11	17	8	79	105
5	人	7	19	26	17	24	13	15	9	78	104
6	人	7	20	27	18	24	12	14	12	80	107
7	人	6	25	31	18	26	12	13	12	81	112
8	人	6	25	31	20	25	12	18	13	88	119
9	人	6	26	32	20	26	12	16	12	86	118
10	人	6	26	32	21	28	13	13	12	87	119
11	人	6	26	32	21	27	13	16	10	87	119
12	人	6	25	31	18	25	13	18	9	83	114
1	人	7	26	33	17	23	13	15	8	76	109
2	人	6	28	34	16	20	12	15	7	70	104
3	人	6	30	36	17	19	12	16	6	70	106
計	人	76	295	371	220	293	148	186	118	965	1,336
前年度	人	97	213	310	189	299	166	181	93	928	1,238

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和6年6月12日	BCP訓練	気仙沼市社協本吉支所
6月24日	腰痛予防研修②ノーリフティングケアの実際	はまなすの丘
6月25日	福祉用具ショートWeb研修	オンライン
7月17日	福祉用具取扱研修・ミニ展示会	気仙沼市社協本吉支所
8月28日	介護保険施設等集団指導（訪問系・福祉用具系）	気仙沼保健福祉事務所
8月28日	装着型介護ロボット体験会	気仙沼保健福祉事務所
9月4日	宮城県高齢者権利擁護推進研修	オンライン
9月10日	接遇講習会	オンライン
9月12日	新規取扱商品展示会/セミナー（リスクマネジメント）	石巻市
10月29日	第1回感染症対策委員会・感染症研修会	気仙沼市社協
11月18日	気仙沼圏域認知症地域ケア推進研修会	気仙沼保健福祉事務所
11月26日	第1回虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会	気仙沼市社協
12月20日	BCP研修 ※動画視聴	気仙沼市社協本吉支所
12月24日	認知症勉強会 ※動画視聴	気仙沼市社協本吉支所
令和7年1月30日	権利擁護・虐待防止研修	本吉保健福祉センターいこい
2月7日	福祉用具ショートWeb研修	オンライン
随 時	事業所内会議：定例会議及び伝達研修（随時開催）	

【成果】貸与・販売の選択制などへいち早く対応したことや周知活動等を継続して行うことで新規利用に繋げることができました。また、研修等に積極的に参加し職員のスキルアップに努めました。

【課題】利用者数増加に伴い業務が煩雑化してきており、見直しや改善が必要な状況にありますが、行えていない状況にあります。利用者に必要な福祉用具を選定できるよう職員のスキルアップが必要です。

【今後の取組】事務の簡略・効率化や管理ソフト導入なども検討しながら、適切な運営に努めていきます。また、今後も研修に積極的に参加し、職員のスキルアップに努めていきます。

【決算】事業活動収入	16,831,576円	事業活動支出	15,206,886円
		その他の活動による支出	105,444円
		当期資金収支差額	1,519,246円

(11) もとよし福祉用具貸与事業所（特定福祉用具販売）

【概要】福祉用具の有効活用による自立支援と介護者の負担軽減による介護機能の充実強化に努め、安心して在宅生活が継続できるようにサービスを提供しました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	0	0	0	0	1	0	1	0	2	2
5	人	0	1	1	0	0	1	1	0	2	3
6	人	0	0	0	0	1	0	1	0	2	2
7	人	0	2	2	2	0	0	0	0	2	4
8	人	0	1	1	0	1	0	1	1	3	4
9	人	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
10	人	0	1	1	0	1	0	0	0	1	2
11	人	0	1	1	1	0	0	0	0	1	2
12	人	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
1	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	人	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
3	人	0	0	0	0	1	0	1	0	2	2
計	人	0	7	7	3	5	2	4	1	15	22
前年度	人	2	8	10	9	4	6	5	2	26	36

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和6年6月12日	BCP訓練	気仙沼市社協本吉支所
6月24日	腰痛予防研修②ノーリフティングケアの実際	はまなすの丘
6月25日	福祉用具ショートWeb研修	オンライン
7月17日	福祉用具取扱研修・ミニ展示会	気仙沼市社協本吉支所
8月28日	介護保険施設等集団指導（訪問系・福祉用具系）	気仙沼保健福祉事務所
8月28日	装着型介護ロボット体験会	気仙沼保健福祉事務所
9月4日	宮城県高齢者権利擁護推進研修	オンライン
9月10日	接遇講習会	オンライン
9月12日	新規取扱商品展示会/セミナー（リスクマネジメント）	石巻市
10月29日	第1回感染症対策委員会・感染症研修会	気仙沼市社協
11月18日	気仙沼圏域認知症地域ケア推進研修会	気仙沼保健福祉事務所
11月26日	第1回虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会	気仙沼市社協
12月20日	BCP研修 ※動画視聴	気仙沼市社協本吉支所
12月24日	認知症勉強会 ※動画視聴	気仙沼市社協本吉支所
令和7年1月30日	権利擁護・虐待防止研修	本吉保健福祉センターいこい
2月7日	福祉用具ショートWeb研修	オンライン
随 時	事業所内会議：定例会議及び伝達研修（随時開催）	

【成果】事業周知や貸与・販売の選択制導入の対応を貸与事業と一体的に進めて、利用者の自立支援に努めました。

【課題】上半期までは、前年度を上回る利用実績でありましたが、入院・入所される方が多く下半期は極端に利用実績が下り、月ごとの利傾用者数の変動が大きい状況にあります。また、介護保険以外の販売対応についても検討していく必要があります。

【今後の取組】今後も安定して販売が継続できるよう周知の継続と情報収集などを行いながら、これまで以上に利用者の自立支援や介護者の負担軽減に繋がるサービスが提供できるよう努めます。

【決算】事業活動収入	727,419円	事業活動支出	762,489円
		当期資金収支差額	-35,070円